



日本のトイレの快適さに感動しています！



「トイレ」のあとの「Toilets」や「bathrooms」にお気づきかと思えます。日本語では、部屋も設備も「トイレ」と呼びますが、英語では部屋としてのトイレを「bathroom」、設備としてのトイレを「toilet」と表現します（restroom や washroom、lavatory など、地域によって異なる表現をする場合もあります）。これを踏まえてもう一度読んでみてください。

皆 さん、こんにちは。橋立中学校ALTのピーターです。今回は、家族の中でよく話題に上がる日本文化を紹介します。

昨年、家族が初来日しましたが、驚きの連続だったそうです。その中でも、母の心をつかんだ文化があります。その日本文化とは「トイレ（Toilets）」です！

具体的には、ウォシュレットに強く感動したといえます。日本では多くのトイレ（Toilets）に備わっているウォシュレットですが、アメリカや母の故郷ブラジルではとても珍しいです。私の家族が多く暮らすヨーロッパでは、ウォシュレットより前

から「ビデ」が使われています。このビデは、日本で暮らす皆さんが思うトイレ（Toilets）に備わっている機能としてのビデとは少し違い、トイレ（Toilets）の横に別物として置いてあります。日本のトイレ（bathrooms）はアメリカやヨーロッパより狭いため、このような違いがあるのかもしれない。

私の出身地であるアメリカ・バージニア州では、一軒の家に3つか4つのトイレ（bathrooms）があり、男性用にはシャワー、女性用にはシャワーと浴槽がついています。この形式は、日本でも「3点ユニットバス」と呼ばれ、ホテルなど

で親しまれています。アメリカでは、浴槽は女性や子どものためのものと考えられていて、男性は浴槽につかる習慣がありませんでした。一方、日本では、男性も浴槽につかることが一般的であり、ゆっくりお湯につかり、温かいこたつに入り、便座も温かいため、リラックスして冬を過ごすことができました。

アメリカではウォシュレットがなかったり、浴槽につかる習慣がないだけでなく、「リラックスする場所」といえばソファークラッドと決まっていたため、リラックスできる場所がたくさんある日本はとても快適で過ごしやすいです。

【広告枠】

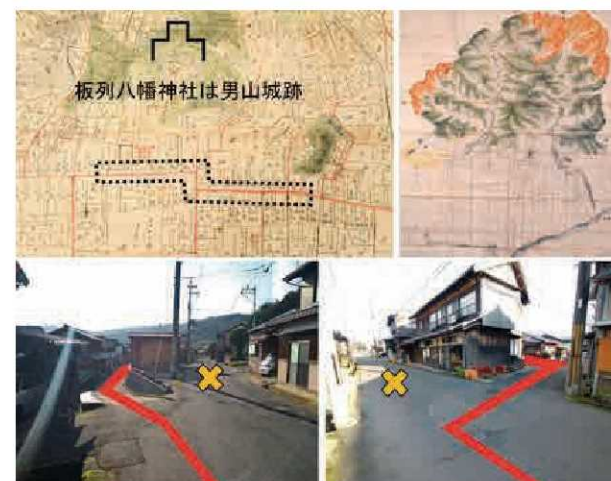
正社員 登用制度あり
事業拡大のため 従業員募集
 ● マシンオペレーター経験者（正社員・交替勤務有）
 ● 製造現場の管理者（正社員）
 ● 製造組立、品質管理（契約社員・パート）

新しいことにチャレンジしませんか！
 ものづくりに興味がある方、手先の器用な方！福利厚生充実、子育て中の女性も働きやすい環境です！
 〈まずは採用担当者宛にご連絡ください〉

皆様の声をお聞かせください！アンケートへのご協力をお願いいたします。こちらからご回答ください

求人募集の詳細はこちら

パナソニック ライティングデバイス久美浜株式会社
 Panasonic Lighting Devices Kumihama Co., Ltd.
 所在地: 京丹後市久美浜町永留小字下川原94番
TEL.0772-84-0241
<https://panasonic.co.jp/ew/pldvk/>



戦国時代に府中を拠点（府中小学校地は御殿か？）とした丹後守護・一色氏の守護所防衛の西面防衛施設の可能性を想像し、たくなります。

戦国時代の防衛遺構が、物を言わずに私たちの傍らにあるようです。

（与謝野町教育委員会）

男 山区に伝わる古絵図に、明治6（1873）年に作成されたものがあります。この古絵図には、道・水路・種目・地番・地名などが示されています。その中でも「道」に注目すると、板列八幡神社の前から東に向かう道が途中で「」の字形に屈曲していることがわかります。今の道路は真つすぐ東に通っていますが、当時、この道はなく屈曲していま

した。今も残る細道の屈曲はその名残なのです。

この屈曲道の謎解きは、戦国時代にあると想定されます。山上にある板列八幡神社は男山城跡という戦国時代の山城跡で、この屈曲道は防衛のために故意に屈曲させたものである可能性が想定されます。男山城・城下の屈曲道・男山川（堀として利用可能）の3つはどこを防衛しようとしたのでしょうか？

問 保健課 ☎ 43-9022

フレイル予防体操 No.8 ひざ曲げ

運動の注意点

- 無理をせず痛みのない範囲で、少しずつ休みながら行う。
- 運動時は息を止めずに自然な呼吸を心がける。
- 体調の悪いときは決して無理をせずに休む。
- 椅子や机を使用するときは安定したものを使い、パイプ椅子やキャスター付きの椅子など、軽いものや動くものは使用しない。

手順（左右 30 × 2回）

- ① ゆっくりと、できるだけ後方にひざを曲げる。
- ② ゆっくりと、ひざを伸ばし、元の位置まで足を下ろす。
- ③ 反対側も同様に行う。

POINT!! ふとももは前に出さない

※ 転倒やふらつきを防ぐため、机やいすを持ちましょう

